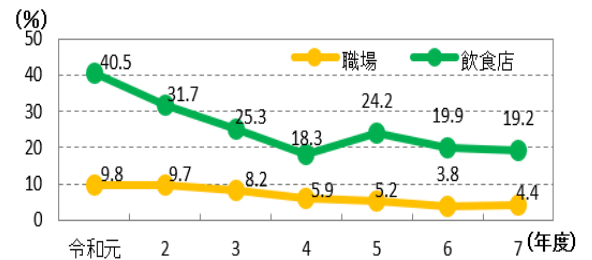


< 参考 > 受動喫煙について

◆ 受動喫煙の機会

東京都は、令和6年3月に策定した「東京都健康推進プラン21（第三次）」において、受動喫煙の機会をなくすことを目指しています。令和7年度の調査では、受動喫煙の機会があった人の割合は、職場で4.4%、飲食店で19.2%となっており、飲食店では、法及び都条例施行前である令和元年度の40.5%から大きく低下しています。



「受動喫煙に関する都民の意識調査」(東京都福祉保健局・保健医療局)から再集計

◆ 飲食店における店頭表示

法及び都条例に基づき、都内飲食店は店内の喫煙環境を表示する標識を店頭に掲示する必要があります。東京都では、飲食店が使用できるシールタイプの標識を作成し、配布しています。



◆ 受動喫煙対策に関する情報提供

「とうきょう健康ステーション」の受動喫煙対策特設ページでは、都内の受動喫煙対策に関する情報を掲載しています。飲食店等の施設管理者に必要な対策を解説した「施設管理者向けハンドブック」や利用者向けの受動喫煙の機会を減らすための飲食店の選び方を紹介しています。

< とうきょう健康ステーション内、受動喫煙対策特設ページ >

<https://kenko-station.metro.tokyo.lg.jp/category2/kitsuen/tokyo/index.html>

